

ESD レポート

ESDとは「持続可能な開発のための教育=Education for Sustainable Development」の略。環境・貧困・人権・平和など、私たちが直面するさまざまな問題に取り組み、豊かで公正な未来を創造するための「価値観」と「スキル」を育む、未来創造型の学びです。「国連持続可能な開発のための教育の10年(ESDの10年)」が2005年からスタートし、世界各国で取り組まれています。

地球と社会のための“人づくり”応援マガジン

vol.34

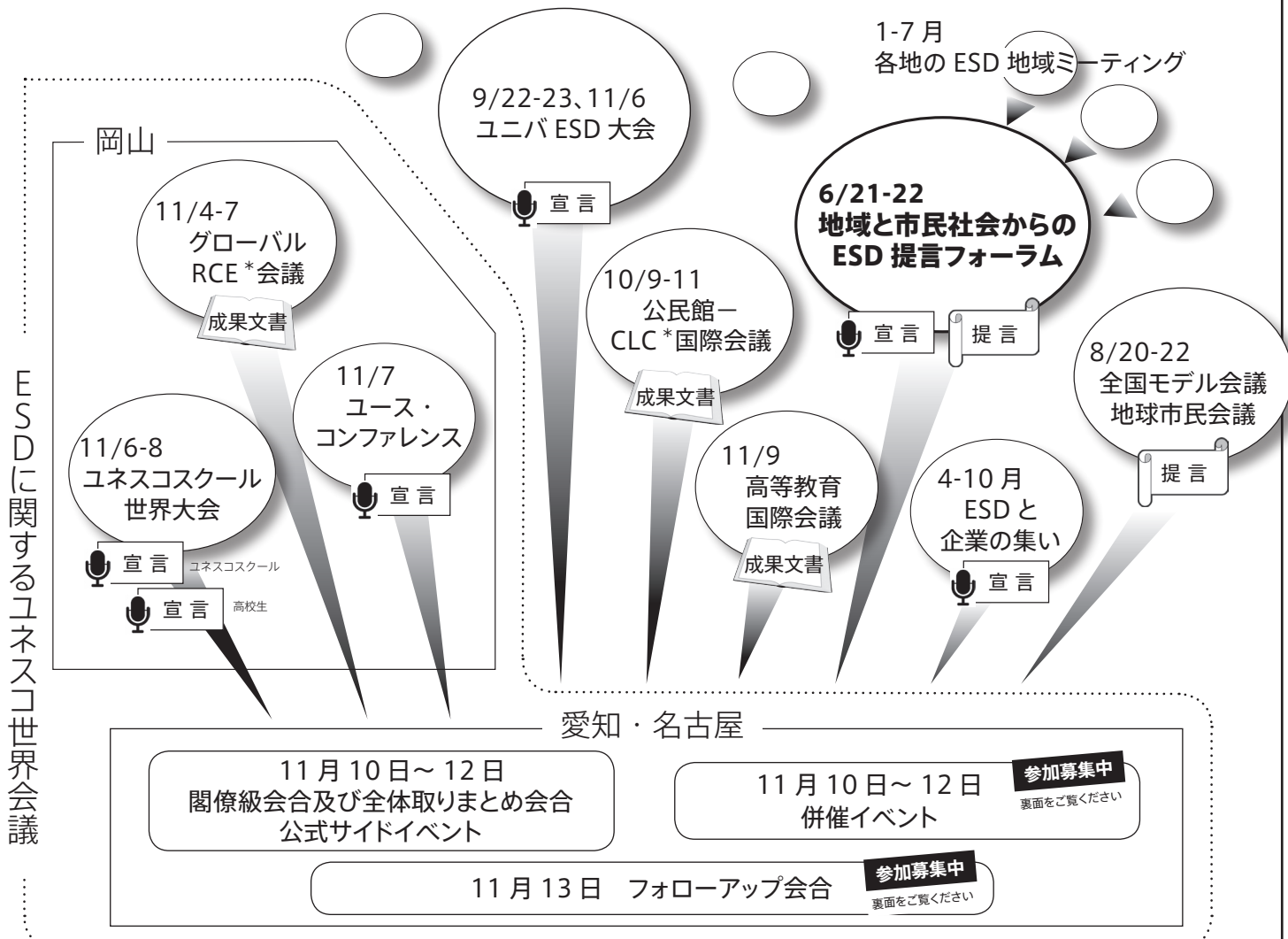
2014年秋

2014年10月7日発行

認定 NPO 法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議



ESDユネスコ世界会議から 新しいESDが始まる！



* RCE : Regional Centres of Expertise on ESD
* CLC : Community Learning Centre

2015年からのESD

いよいよ11月、“国連ESDの10年”の総括会合「ESDに関するユネスコ世界会議」が岡山と愛知で開催されます。この会議は世界のESD関係者が集まり、これまでの取り組みを振り返り、これからのESD展開に向けた議論を行う、大切な節目の場。「ESDの10年」の終了をふまえ、2015年以降のESD推進の枠組みとして、“ESDグローバル・アクション・プログラム”が発表されます。

そしてその世界会議に向けて、ESD-Jはじめ多様な立場の

ESD実践者がそれぞれにメッセージや提言を発信すべく議論を重ねています。

これら世界会議と関連イベントの成果を持ち寄り、2015年以降の日本のESD推進についてマルチステークホルダーで語り合う場として、11月13日のフォローアップ会合（文部科学省主催）が開催されます。

ESDが新しいスタートを切る貴重なその場に、皆さんもぜひご参加ください！

2015年からのESDを 市民イニシアティブで描く場に参加しよう

名古屋で開催される世界会議は各国および国際機関から招聘された1000名あまりのメンバーによる会議となり、一部しか公開されませんが、それと並行して「併催イベント」が同じ国際会議場内で開催され、国内のESD実践者が交流・議論する場となります。以下はESD-Jが主催または企画にかかわる「市民イニシアティブで2015年以降のESDを語り、描く場」です。ぜひご参加ください。

詳細&お申し込み：<http://www.esd-jpnatcom.jp/index.html>

申込締め切り：10月31日

* 世界会議併催イベント

「共に掲げよう! 地域・市民社会・企業からのESD推進宣言・提言」

11月12日(水) 17:00～18:30

名古屋国際会議場1号館

主催：ESD-J

ESD-Jは、各地で「ESD地域ミーティング」を開催された方々はじめ、ESD実践者・ESD推進機関の方たちと、6月に「地域と市民社会からのESD提言フォーラム」を開催、そこでの議論をベースに3か月かけて「ESD市民イニシアティブ～市民によるESD推進宣言」と「地域と市民社会からのESD提言」をとりまとめました。その「宣言」と「提言」を世界会議併催イベントの場で紹介し、全国各地のESD実践者から賛同のサインアップを募り、2015年以降のESD推進のネットワークを広げていくことを目指します。

※「宣言」と「提言」はESD-Jのウェブサイトからご覧いただけます。
また、世界会議の参加者を対象とした公式サイドイベントでも発表します。

* 世界会議フォローアップ会合

「これからの日本のESDが ここから始まる」

11月13日(木) 10:00～17:00

名古屋国際会議場(白鳥ホールほか)

主催：文部科学省 共催：外務省、環境省

企画・運営：ESD-J

世界会議の成果を共有し、これからのESDの展開に向けて考える場。全国からESD実践者・関係者が集い、2015年以降のESD推進の方向性とその実現に向けたアクションについて、「学校におけるESD推進」「地域社会におけるESD推進」「ユース・エンパワメント」「ESDの担い手育成」「ESD実践や教材、支援等の情報共有」「ESD推進のネットワーク」の6つのテーマで議論します。

* 世界会議に向けたその他の動き

ESD実践モデル全国会議2014 & ESDの10年・地球市民会議2014 (ESD-J共催)

8月20日(水)～22日(金) 国連大学(東京)

ESDにたずさわる多彩なプレーヤーが会い、未来につなげる提言を取りまとめました。



次世代からのESD体験報告

アジアESD NGOネットワーク 開始式典&国際ワークショップ (ESD-J主催)

10月8日(水) 岡山国際交流センター
(岡山)

これまで国際プロジェクトを共に行ってきた中国、韓国、インドネシア、フィリピン、インドのNGOとともに、アジアにおけるESD推進のためのネットワーク(ANNE)を立ち上げ、「生物多様性を踏まえたアジアの持続可能な農山漁村社会の形成」のための人材育成事業の展開に向けた議論を展開。



新メンバー紹介

3～9月

2団体、19名の方が
新メンバーに加わりました。

団体準会員	ピースポート
個人会員	19名(関東10名、中部2名、北陸1名、近畿3名、中国1名、九州2名、海外1名)
賛助会員	(株)ベネッセコーポレーション

編集後記

「ESDの10年」のラストイヤー。その大事な年に、ESD-Jのお仕事をさせていただくことになりました。春から続けられてきた「地域と市民社会からのESD提言」作成ワーキングでは、「この10年を次につなげたい」というメンバーの皆さんの熱い思いに圧倒されました。そうしてできあがった「提言」と、合わせて書き下ろされた「ESD市民イニシアティブ～市民によるESD推進宣言」は、ユネスコ世界会議の場でも紹介されますのでぜひ触れてみてください。(ESD-J事務局 中川哲雄)

認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J)

<http://www.esd-j.org/> e-mail: admin@esd-j.org

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5 日能研ビル201 TEL:03-5834-2061 FAX:03-5834-2062

● 会員募集中：正会員(10,000円)、準会員(3,000円) 詳しくはHPをご覧ください ●

発行：認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議
編集：ESDレポート編集チーム レイアウト：河村久美



この印刷物は、適切に管理された森林の認証木材から作られた紙と、輸送マイレージに配慮し、米ぬか油を使用したライスインキで印刷しています。

